



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISH(03)3 202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」
 アジア会長主題 「変革のための光となろう」
 東日本区理事主題 「未来のために今、学びと気づきを！
 未来のために自信を育み、真の喜びに出会う！」
 あずさ部部長主題 「良い結果をもたらす心の安定と考える力を」
 東京西クラブ会長主題 「無理をしないで歩く 希望の光に向かって」

2023年7月号

NO 562

イエスはお答えになった。「人はパンだけで生きるものではない。
 神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」

マタイによる福音書 4章4節

新年度へ向けて

本川悦子

前年度の第3回評議会で、東京西クラブは来る 2025-26 年度の部長輪番を辞退したいと申し出ました。(継続審議中です)

私たちのクラブは今年平均年齢が 82 歳になります。クラブ全員、気持ちも体力も平均年齢以下ですが、2 年後に部長を選出するのは無理とクラブ内で判断しました。

2023-24 年度は体調を考慮し、ケガをしないように、全員でクラブを盛り上げていきたいと思えます。

6 月の例会はクラブ総会と、東京西クラブの事業として続けている東京 YMCA ホテル専門学校留学生支援の奨学金授与式をおこないました。今年はベトナムからの留学生 VU HOANG DUNG (う”ほあん ずん) さんに授与しました。ずんさんは自己紹介が終わって、私たちに折り紙

を配りました。そして、ご自身が考えた蓮の花の折り方を上手な日本語で教えていただきました。

久しぶりの折り紙、遠い昔を思い出し楽しみました。高齢者は昔の経験の思い出すことは脳の活性化につながると聞いたことがあります。久々に童心にかえって、おぼつかなくなった指を使った折り紙は脳、体を刺激しました。

今年度の東京西クラブは体幹を刺激しながら、けが、健康に留意して、無理をしないで、焦らずゆっくりとあゆみを進めたいと思います。

抱負として、気持ちを若く保ち、お客様とメンバーがともに楽しめる例会を持ちたい。また重点目標としては、新しいメンバーを迎えることが最重要ですが、何をするのか、どうしたら良いのかをメンバー全員で考えていきたいと思えます。

今年度クラブ役員

- | | |
|--------|-------|
| 会長 | 本川 悦子 |
| 副会長 | 神谷 幸男 |
| 書記 | 村野 絢子 |
| 会計 | 篠原 文恵 |
| 直前会長 | 高嶋美知子 |
| 監事 | 河原崎和美 |
| 地域奉仕 | 神谷 幸男 |
| Yサービス | 大野 貞次 |
| 会員増強 | 吉田 明弘 |
| ユース | 大野 貞次 |
| 国際交流 | 村野 絢子 |
| WHO事務局 | 石井 元子 |
| 担当主事 | 横山 弥利 |
| ブリテン | 神谷 幸男 |
| | 吉田 明弘 |
| | 大野 貞次 |
| | 篠原 文恵 |

1 年間、よろしくお願ひします。

クラブ役員

- | | |
|------|-------|
| 会長 | 本川 悦子 |
| 副会長 | 神谷 幸男 |
| 書記 | 村野 絢子 |
| 会計 | 篠原 文恵 |
| 担当主事 | 横山 弥利 |

6 月の記録		ニコニコ	3,080 円
在籍者数 12人 (内功労会員) 1人	メネット 0人	クラブファンド	0 円
出席者数 9人	コメント 1人	ファンド残高	114,715 円
メーキャップ 1人	ビジター 1人	ホテ校ファンド	5,000 円
出席率 91%	ゲスト 1人	ホテ校残高	2,570 円
内 Zoom 参加 0人	出席者合計 11人	WHO 参加者	58人

7月例会のご案内

強調テーマ：キックオフ、PR

2023～2024 年度が始まります。新会長に本川悦子会長を迎え新しい体制のスタートです。また森本俊子・あずさ部長の公式訪問を受けます。そして卓話者には大貫裕之さんを迎えて再生可能エネルギー等のお話を伺います。楽しい会にしたいと思いますので、みなさまご参加ください。

日時：7月20日（木）18：30～20：30

会場：ウェルファーム杉並 4F集会室

杉並区天沼 3-19-16 03-5335-7330

会費：1,200 円（夕食代として）

担当：旧 A 班（大野、村野、篠原）

HAPPY BIRTHDAY

16 日 河原崎和美 30 日 山田 紀子

開会点鐘

いざたて（静唱）

聖句朗読・祈祷

会長挨拶・ゲストご紹介

あずさ部長公式訪問挨拶

会食

卓話 「再生可能新エネルギー等について」

中央大学大学院法務科教授

大貫裕之さん

会長

会長、各担当

横山担当主事

一同

会長

受付 篠原 文恵

司会 村野 絢子

会長・本川 悦子

一同

吉田 明弘

会長

森本俊子あずさ部長

— 6 月事務会報告 —

日時：6月22日（木）

17:00～19:00

会場：山手センター 3 階

出席者：石井、大野、高嶋、篠原、
本川、村野

< 報告事項 >

- ①2022-23 年度東日本区大会において東京西クラブはブリテン最優秀賞を受賞しました。
 - ②7 月例会に森本あずさ部長が公式クラブ訪問をされます。
 - ③東京西クラブが支援している東京 YMCA ホテル専門学校の留学生 VU HOANG DUNG（う“ ほあん ずん）さんに 10 万円を贈呈しました。
 - ④西日本区大会に高嶋会長と神谷さんが出席しました。会場で行われたヘキサゴンの集まりで会計を神谷さんから岩本悟さん（熊本にし）に交代しました。
 - ⑤7 月から事務会の会場が山手センターから阿佐ヶ谷地域区民センターに変わります。
- < 協議事項 > = 例会関係 =
- ①例会の受付は篠原会計が担当する。
 - ②A、B 班から司会者を交代で出すが、ブリテンは従来通り 3 人

が（大野、神谷、吉田）が月替わりで担当する。

- ③7 月の卓話者は大貫裕之さん、9 月、10 月は未定だが、アマチュア落語家六法亭無性さんをお願いしたいので、たんぽぽの服部さんに交渉をお願いします。11 月は三井金属元取締役副社長・須永達夫さんをお願いしました。

④例会のお弁当代（会費）を 1,500 円から 1,200 円に変更します。

< 協議事項 > = 例会以外 =

①WHO の継続の方法を検討したい。

< その他 >

- あずさ部部大会 10 月 21 日（土）
ホスト・長野クラブ
- 第 1 回評議会 7 月 15 日（土）
ホスト・東京武蔵野多摩クラブ
会場：高尾の森わくわくビレッジ
- 第 2 回評議会
ホスト・東京八王子クラブ
- 第 3 回評議会
ホスト・東京サンライズクラブ
（書記・本川悦子）

卓話者紹介

大貫 裕之（おおぬき・ひろゆき）さん

宮城県鳴子町（現在は大崎市鳴子）に生まれる。小学生の時に仙台市に移る。東北大学に入学、行政法学を学ぶ。

2003 年大学院法学研究科博士課程修了まで仙台市に住み、その後上京し杉並区に住む。

2003 年中央大学大学院法務研究科教授。2018 年中央大学副学長、2020 年学校法人中央大学常任理事。

2011 年 9 月から文部科学省の中央教育審議会委員、2019 年 9 月から経済産業省/資源エネルギー庁で、再生可能エネルギー主力電源化制度改革小委員会委員。現在、家族と東京都杉並区在住。趣味は哲学や歴史の本を読むこと。美味しいワインを飲むこと。

会計からのお願い

半期分の会費を例会に持参か、振込でお願いいたします。

振込先

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ



贈呈式を終えて記念撮影のあと、クラブ年次総会が行われた

－ 6 月例会報告 －

2022-2023 年度最後の例会は恒例の東京 YMCA ホテル専門学校に在籍する留学生への奨学金贈呈とクラブ総会が行われた。

今年度の奨学金受領者はヴェーホアン ズンさん。ベトナム出身で日本のホテル勤務を希望している学生さん。

贈呈式はまず小畑貴裕校長による本人の紹介、入学に至るまでの状況、学業状況、学業に取り組む意欲などが話された。次いで本人の自己紹介、故郷の様子、生い立ち、学校生活などスマホに蓄積されたデータをスクリーンに映しながら流暢な日本語で話された。

「ズンちゃんと呼んでください」と明るく挨拶された彼女は、来日して最初の2年間、日本語学校に通う間1日も欠かさず朝夕の新聞配達を続け、新聞店から表彰を受けたという頑張り屋さんでキュートな生徒さんです。

また細かな模様の入った折り紙を取り出し、母国の花である蓮の花の折り方をわれわれに指導してくれた。とても細かく折りたたまなければならないので皆悪戦苦闘、小生は歪んだ作品にしかならなかった。このパフォーマンスはホテルマンとしてのホスピタリティを感じさせる一コマであった。

そして高嶋会長代理・吉田副会



留学生のズンちゃんに奨学金を贈呈

長から金一封を贈呈して式を終了。ズンさんと小畑さんも一緒に会食を楽しんでいただいております。次いで本人の自己紹介、故郷の様子、生い立ち、学校生活などスマホに蓄積されたデータをスクリーンに映しながら流暢な日本語で話された。

クラブ総会では本川書記が用意された資料に基づいて審議された。

第1号議案・本年度活動報告、第4号議案次年度活動計画、第6号議案次年度クラブ役員に件に関して全会賛成で可決された。

会計関係議案については年度未了のため7月第2例会において審議することとなった。

以下通常のプログラムを滞りなく行って閉会となった。

(神谷幸男)

出席者：＜メンバー＞石井、大野、神谷、河原崎、篠原、本川、村野、横山、吉田、＜ビジター＞小畑貴裕（東京たんぽぽ）、＜ゲスト＞ヴェーホアン ズン（留学生）、＜メイクアップ＞高嶋（7月事務会）

■ホテル学校は1学期も終盤を迎え、夏季休暇期間に希望者が参加するリゾートホテル実習の準備が進んでいます。今年は82人が23ホテルで実習を行う予定です。北は北海道の阿寒湖やトマムで、南は沖縄の本島以外に瀬底島のホテルでも行います。避暑地以外に今年は京都のホテルを希望する声も多くありました。また、3年ぶりにアメリカ YMCA の宿泊施設、ノースカロライナ州にある YMCA ブルーリッジアッセンブリーでお世話になる北米ホテル研修にも1人ですが参加予定です。

■東京 YMCA 山中湖センターは、1923 年に開設された日本で最初の野外教育のための施設です。開設 100 周年を迎えた 2023 年、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち 100 人を東京 YMCA 山中湖センターで実施されるキャンプにご招待します。第1弾は、新型コロナウイルスの影響や物価上昇、その他様々なご事情により経済的にお困りのご家庭の子どもたちを対象としたキャンプを開催いたします。

■東陽町語学教育センターでは、7月1日（土）に「インターナショナルデイ」を開催します。今回のテーマは「フレンドシップ」。年齢ごとのグループに分かれクラフトやクッキングをしたり、世界の友だちへメッセージを書いたり、歌のプレゼントをします。各グループには様々な国籍のボランティアリーダーがサポートに入り、英語と日本語を使って活動します。先着 60 人、事前申込が必要です。

■今夏第 14 回を迎える「キッズワールドカップ in 韓国」が 2023 年 8 月 7 日（月）～11 日（金）5 日間で行われます。アジア各地の YMCA から小学生が韓国に集結し、世界中で大人気のスポーツ「サッカー」を通じて交流を深めます。（担当主事 横山弥利）



写真左 ガラス越しに見る青果物卸売市場。物音も人声も聞えない。右、マグロの競りは朝6時30分に終わっていた。こちらはマイクで音声が届く。

WHO 6月ウォーキング 豊洲市場と東京湾シーサイド

6月は、2016年11月に築地から移転した東京都豊洲市場訪問でした。ゆりかもめ・新橋駅に集合したのは、歴代3番目に多い58人でした。今回のワイズ関係の参加は、石井・本川・吉田（東京西）、中澤・藤江（東京たんぽぽ）、樋口（東京グリーン）、関（元石巻広域）でした。

モノレールへ乗り込み、市場前駅へ。高架から眺める沿線の光景は、子どもなら歓声を上げたところでしょう。豊洲市場は、東京

ガスの跡地を整備新築したもので、3つの街区に分かれて、それぞれ青果棟、水産卸売場棟、水産仲卸売場棟と付属のビルを歩行者デッキが結び、ビル内にある見学者デッキからガラス窓越しに、階下の市場の取引が見られるのです。

最新の衛生管理から言えば、外気と人の遮断は欠かせないので、サイレント映画のようで、市場独特の賑わいや熱気が伝わらず残念でした。朝6時30分に終わったマグロのセリの模様は、マイクで聴けたそうです。

一方、歩行者デッキは雨天や強い日射しを避けられ、平坦でデッキ上を歩いている限り迷子になりません。段差のある箇所はエスカレーターになっています。

あちこち巡り、食事場所を心づもりしながら、6街区に到着。水産仲卸売場の物販店舗は、素人も買える売り場、乾物中心に約80店舗あります。さらに寿司、ウナギ、トンカツなどの店舗には早く食事としたいという空気が一気に膨らみ爆発寸前。ここで、急遽解散にしました。それぞれで摂られた食事は、いかがだったでしょうか。（吉田明弘）

WHOウォーキングは、7月・8月は夏休みとし、9月から再開いたします。

2022-2023年度 東日本区表彰一覧から一部抜粋

理事表彰

東日本区奈良傳賞

田村修也さん（那須クラブ 1940年3月13日生まれ 83歳）

鈴木健司さん（甲府クラブ 1935年9月18日生まれ 87歳）

最優秀クラブ賞

横浜つづきクラブ

コロナ禍にもかかわらずTKB(Tsuzuki Kawaii Bachans)のメンバーを中心に、世の中の状況にあった心のこもった活動を実施。

優秀クラブ賞

東京たんぽぽクラブ

少人数にもかかわらず、しっかりとクラブの運営が行われ、また、各種献金や区の委員会等の参加にも協力。コロナ禍の中、liby

チャリティーコンサートを継続実施していることは、ワイズ活動の模範ともいえるべきものである。

理事特別賞

栗本治郎さん（熱海）

コロナ禍の厳しい時代に、Change! 2022の会員増強特別委員会委員長を3年間にわたり担当していただき、その間、ワイズの情報を世の中に発信するQRコードシステムの作成、ワイズナイトフォーラムの実施、YMCAの機関誌にワイズ記事を掲載する仕組み作りなどに強力なリーダーシップを発揮されました。

ブリテン最優秀賞

東京西クラブ

話題が豊富でホットとするような記事が多く連載されている。長

く連載しているインタビューの記事も読みやすく興味深い。

ブリテン優秀賞

那須クラブ

きれいで読みやすく話題の多いブリテン。定期的に、支援している幼稚園だより、老人ホーム便り、アジア学院だよりを掲載している。緑と水の連載物語も119回の長期に亘り掲載。

甲府21クラブ

文字が大きく読みやすく話題が豊富。写真と色彩のバランスが良くセンスがありスマートな構成となっている。

熱海クラブ

写真をうまく使い、カラフルな楽しく綺麗な紙面。編集は極めて高いレベル

☆☆☆インタビュー☆☆☆118☆☆
山田 公平さんに聴く
 宇都宮クラブ
 * * *



—山田さんは、柔道少年だったそうですね。

「1949年に東京都文京区に生まれ、柔道は、小学4年から始め、5年から水道橋の講道館の少年部に入り、毎日放課後に50分ほど歩いて通いました。高校、大学と柔道部に入り、全国大会に出場し、軽中量級での五輪代表を夢見ていました。しかし全国ではさすがに層が厚く、これは無理と納得し、断念しました。

—大学卒業後、すぐアメリカに留学されたのですか。

「最初は、カンサス州立大学修士課程で国際政治学を学びました。ここで気づいたことは、周囲の学生が、卒業後に仕事に就いた時に役立つ分野のことを学んでいるのです。それにひきかえ、自分は修士さえとれば良いとしか考えていないことでした。国際政治を勉強して何になるのか全く思い描けないのです。卒業前に1科目だけ福祉の初級クラスを履修しました。なんと面白い実践的な勉強かと感じ、政治学部卒業後に福祉の修士課程に再入学しました。それが、メリーランド大学社会福祉学科でした。勉強は実践的で、勉強が楽しいと思ったのはこの時からでした。あるクラスで老人福祉のビデオを見せてもらい、私の心は大きく揺さぶられ、ショックを感じました。大学のあったボルチモア市には貧困層、特に老人の1人暮らしが多くいました。初秋の昼間、ジョギングで公園に行くと、そこにあるベンチに

1人寂しそうに座っている老人の姿がありました。そんな光景を毎日見ている、これは日本の未来の現実になるのではと思いました。その後、大学で学んだ科目はほぼ全て老人福祉に関係するものでした。卒業を間近に迎えた頃、学んだことをこの国で活かさないかと考えていたとき、地元のボルチモアYMCAに出くわしました。当時、YMCAで高齢者プログラムを開発する計画があると知り、応募しました。高齢者を対象にするプログラムなら何をしても良かったのです。地元の教会のホールで体操クラスを行うことにしました。ある教会で体操クラスを始めると別の教会からも声がかかり、私だけで10近くの教会でクラスを担当して毎週300~400人の高齢者が集まり、体操し、ランチを食べたり、交流会をしたり、大人気の18か月となりました。それがYMCAとの出会いでした。ボルチモアYMCA総主事が、私を東京YMCAに推薦してくれ、1979年から東京YMCAに採用されました」

—この間に大ロマンスがあったとか、さしさわりなければ。

「大学で2年間福祉を勉強していたわけですが、週末の2日間は地元にあった日本食レストラン(ステーキハウス)でアルバイトをしていました。皿洗いから始め、シェフの見習いもさせてもらいました。その時、同じアルバイトでレジ(会計)担当の女子学生が今の妻マーリンで、音大の学生でした。気が合って仲良くなり、日本での結婚を決めました」

「当時、日本のYMCAで事業として高齢者福祉を行なっているところはありませんでした。東京YMCAの英語専門学校の仕事に配属され、5年後、宇都宮YMCAに出向になり、当時の並木信一総主事から、『何をやっても良いから』と言われました」

—老人福祉を志望して、5年とは長い雌伏期間でしたね。

「最初は、フィリピンでの『ワークキャンプ』、その後は、『高齢者のキャンプ』、『老いを考える会』、『認知症の家族の会』、『がん患者の会』などを次々に立ち上げました。一方、私自身は、心の中で理想の老人ホーム構想を描いていました。YMCAの常議員会で、『理想的な福祉ホーム』をぜひ創りたいと話したら、誰1人反対なく、全面的賛同を得ることができました。一方で、『老いを考える会』の参加者の方のご主人のお父様から、『ぜひ、自分の土地で老人ホームを創ってくれ』と、約3,700坪の土地の提供を申し出てくださったのです。それが『マイホームきよはら』です。1993年、社会福祉法人が設立され、私はそちらに移りました」

—「マイホームきよはら」の初代施設長となったのが、杉並YMCAにいた大村洋永主事でした。彼は大学時代福祉専攻でした。赴任後会うと何時も楽しげに話してくれました。立ち上げには、栃木のYMCAのワイズメンの協力があつたのでしょうか。

「当時のYMCAは、予算規模も1億円程度で、老人ホーム建設には5億余りの資金が必要でした。そこで、2億の借金、2億の補助金、そして残り1億は募金でまかなうことにしました。1億の募金目標は当時のYMCAには想像を絶するものでした。当時のワイズのメンバーの働きには驚きました。何人かの人は大金を寄付し、また知り合いのワイズメンに寄付の依頼をしました。約2年かかりましたが、9千万近くの額の寄付が集められました。その半分は宇都宮ワイズメンバーとその関係で集められた寄付でした。全国のワイズメンズからも多くの寄付をいただきました。ワイズの力を感じました」

—有難うございました。山田さんは、今年度から2年間、東日本区の理事を務められます。ご活躍を期待しています。(吉田明弘)

気分転換は料理④

わが家の巻物

村野絢子

巻物と言っても忍術虎の巻ではない。当り前の海苔巻き（太・細）、油揚げ巻、肉巻き（牛肉豚肉、ベーコン・ひき肉）、卵巻、ロールキャベツ・ロール白菜・ロールレタス、トルティヤ、春巻き、要するに、その時ある食材で、その時ある食材を（残り物も含め）を巻き簾で巻けば、巻物になる。

残りご飯・漬物・おから・きんぴら・卵焼き・ほぐした焼き魚・チーズ・アボガド・キュウリ・ちくわ・ポテトサラダ・焼肉やハム

等を中身に、そこに葱・大葉・ピクルス・生姜・ゴマ等を添えて、組み合わせ自由で、切り口の楽しい巻物の出来上がりとなる。

トルティヤ（コーン製と私の使う小麦粉製がある）や春巻きの皮は市販のものを使う。トルティヤはさっと焼き柔らかいうちに巻く。春巻きの皮は絞った布巾で湿らすと良い。水にくぐらせて戻し過ぎた失敗が何度もある。どの料理も手順を考え、周りを片付け、道具材料をそろえて、落ち着いて始めることが肝心ののだが、思いついたらすぐ始める自分には失敗も多い。

クレープはデザートに便利。焼いたクレープに半分を縦割りに

するか、スライスしたバナナを並べバナナにカスタード・チョコレートに乗せ、包めば出来上がり。お皿に、焼き立てにバターを塗ったクレープを4つにたたんで並べ、温めたママレードやイチゴジャムを乗せるだけで簡単な一皿。たくさん作るには早めにクレープだけ焼いておく。思えば結婚してすぐクレープパンを買った。50数年物だ。バザーにまたクレープ出そうかな。



私の古い支度

篠原文恵

昨今は、マスコミで「老後」や「終活」という言葉が氾濫していますが、70歳を過ぎて自覚するようになってきました。

それまでも、人の名前が覚えられず、目の前で会話していても最後まで思い出せないこともあり、冷や汗ものです。先日は、長いエスカレータの反対側から来るマスク姿の女性を娘と見間違い、相手から不審な顔をされてやっと気付くなど信じられない失敗がありました。物の名前なら、あいうえお順に記憶をたどっていくと何とか思い出しますが、50音では足りず、アルファベットを駆使してもダメなときは諦めると、翌日ふと思い出すなど全く不思議な現象です。

予定を忘れないために電話の前に目印になる何かを置いたり、普段あり得ないものを部屋の隅に置いてメモに頼らずゲーム感覚で思い出しています。今のところはそれで切り抜けていますが、そのうち目印の意味を忘れることでしょう。

毎朝、新聞のコラム欄を初見でできるだけ早口で読み上げるこ

とも10年以上習慣にしていると、簡単な内容ならミスなしで読めるようになりました。

旅行、読書、映画などまだまだ興味が薄れず、感動の涙も涸れていません。コロナが落ち着いたので、そろそろ世界の絶景を見に出掛けたい、早くしないと体力の方が間に合いません。美味しいものが大好きで、食欲をほどほどに抑えるのが一番苦勞の種ですが…。

ただ、自分の死後についてはかなり前から備えているので安心です。棺の中に入れる花の種類、着物を決め、挨拶状を用意して葬儀費用は業者に支払い済みです。遺言や交遊録を時々書き直し、子どもたちが戸惑わないようにと思っていますが、あとは運命にまかせてストレスのない生活ができることを祈っています。

ワイズの奉仕には積極的にかかわれる年齢ではありませんが、クラブ役員くらいは引き受けて献金が出来ればと呑気に考えているこの頃です。

音訳編集の仕事も最近聴力が衰え、雑音を聞き逃すことがあります。ボランティアは中々増えず、バトンタッチの相手を得ていませんが、そろそろ引き際を考えることが多くなりました。

編集後記

いよいよ新しい体制での東京西クラブのスタートですね。

この1か月を皆様はどのようにお過ごしでしたか。

まだ梅雨が明けないこの真夏の様な暑さが続き私は暑さに負け、ただただ椅子に座りテレビと、にらめっこしながら暑さに耐えていました。そんな中パソコンを起動させると暑さのためか、ダウンし起動せず、私と同じくKOしてしまいました。再稼働出来るまで2日を要してしまいました。本当にこの暑さは参りました。

テレビを見ているとまことに残念なニュースが流れてきます。大きな災害・戦争・その他悲しい事件等が目につきましたが私には何もできないことにいら立つ日々でした。

私たちの活動がすこしでも平和になることに繋がればと願うばかりです。

皆様から多くの記事をお寄せいただき感謝いたします。ただ私の脳が暑さのため、うまく働かずまた発行が遅れてしまいお詫びいたします。

(TO)